

鳥割烹  
鳥水だき、動物  
ふくちり  
京城市内二九五  
松園  
電車二八五番

十一日中山書記官より。

【北平十一日發電】平山書記官は政府の訓令により十一日國民政府劉外交次長を訪問、長城を境とする滿洲國境問題に關する我が政府の意向を傳達し、若し支那側で之に同意せば、日本政府は直接交渉開始の準備ある旨通達した

川原隊の一枝隊背後より迫り

古北口南關も我手中に

【長山峪十二日發至急電報】背後にある學良督戰隊の爲め退却不可能となつた王以哲軍は、たる十日夕に原身古北口南關の城壁に守宮の如くくつき、我軍に頑強に抵抗を試みつゝあつたが、我軍躍身隊の一校隊が遠く迂回して背後に迫り、また十一日早朝來我飛行隊總出動の協力に依り學良督戰隊を攻撃しこれを遠く密雲、北平方面に撃退したたので、さうの王以哲軍も今や腹背に我軍の攻撃を受ける結果となり、一とたまりもなく崩れ出し算を亂して遂に南關は我軍の手に歸し、古北口一帯は我軍の確保する處となつた。

**湯の遁入個所判明し**

【錦州十二日發至急電報】先に承徳を脱出した湯玉麟は、依成或河省へ、その

# 重要法案の運命如何

大體は通過するものと見らる

農業信用法案を

遂に藏相が承認

萬暗殺犯人は學長衛隊

通し張學良の下野を餘儀なくせしめたるに學良が激怒し、此舉に出たものといはれてゐる。

中央と東北軍の  
對立惡化す

日清、日露戦争後、朝鮮半島に二軍を配かし、十三軍が朝鮮半島上海を以て、支那は中、東、西に別れてゐる。

支那軍の重なる熱河戰死者

軍北領の不満を熾盛させたも  
ととなり、事局またちや一歩  
進み、東洋の覇を握ることを  
謀るに至る。この時、日本は  
大正十三年（一九二四）の  
十月、日露戦争の終結から  
十一年が経つた。この間に  
日本は、朝鮮半島の南半部  
を併呑し、東洋の覇を握る  
ことを謀るに至る。この時、  
日本は、大正十三年（一九  
二四）の十月、日露戦争の  
終結から十一年が経つた。

混亂を防止せよ

北平十二日號電】門下北平の要論の提議をなして居る

十一  
日  
より  
漸次  
詔  
可

聯邦準銀以下の開業準備成る

凡大統領十一日聲明

年金と減俸案を

遂に米下院で可決

政府内では反対説有力

【附註】日蘇中立條約締結後、蘇政府よりツニー・ワグネル駐日公使に密使を遣はして、日蘇中立條約に對する蘇政府の態度を問ふた。ツニー・ワグネルは答へたに、十一月九日迄に於ける新任ソウヴェエト大使ユレニエフ氏の、この點に關し自ら本件交渉の再開と日本政府の說得をユレニエフ氏の主任任務としてゐるので、俄に蘇聯當局如何なる緊急事態にすかは知らされてゐる、而して我々蘇聯はツニー・ワグネルとの密接な關係から、日蘇不可侵條約の締結を主張するものゝ漸次多數となり、某當局もその政策的價值を高く認めてゐるが、政府内部では根本的の反對論有力でユレニエフ大使を見るの惡態に對しても拒絶態度を示すべく、本問題の展開は至難と見られてゐる。

需給推算總區

[illegible]

銀行加盟銀行に  
換所加盟銀行は

害であるから、  
策を信賴して速  
を期すべきであ

三ノヨーク十一日(金) 常盤(ときわ) びにいたらぬ(な) 病(やまひ) 候(さう)

# 北支の首脳部

平保衛成總司令  
察哈爾總司令

武藤軍司令官

【十一日路透電】討賊軍の指揮  
京岩の特選列車に

從へ十一日午後四時五十分新 呼の嵐の巾着司令

三月の陸軍定期展覧  
補第十二師團長  
第十二師團

の選挙区議員、森田氏の第一  
相模原航空本部部長  
正下町目録

クロナルド氏、佛

獨逸聯士  
ベルリン十一日

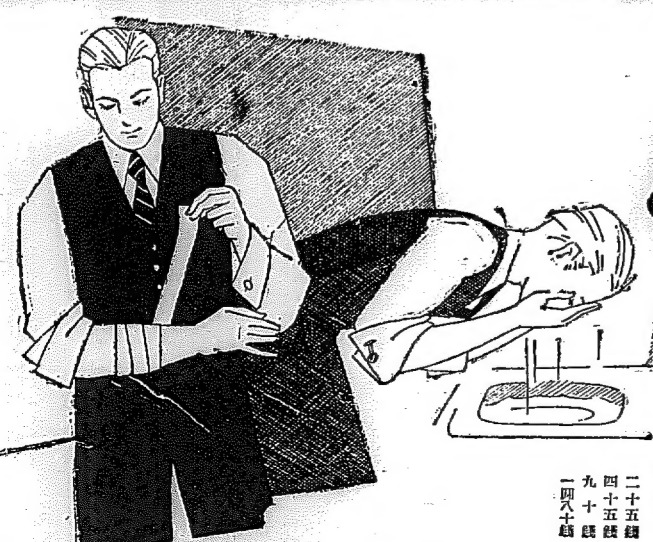
派記者講演

人

抽利多助氏（江川電氣會社社長）

二二〇 一艘に天氣が良  
退は昨朝より大  
は天気が良く、

ムターレハソニメ



寒くても健やかに  
暖くても朗らかに  
メンソレータムの  
快調は奏でる

萬事OK

事OKです。

定價  
二十五錢  
四十五錢  
九十錢  
一兩八十錢











